

無線式連動型 住宅用火災警報器 まるくん

機器交換要領書

〔適用機種〕 ⑤警報器本体の側面に記載しています。

- ・FSKJ223-M 無線式連動型 **親器**（煙式）
- ・FSKJ223-C(-J) 無線式連動型 **子器**（煙式）
- ・FSLJ013-C 無線式連動型 **子器**（熱式）

機器交換に関するお問い合わせは、下記フリーダイヤルまで

0120-155-772（受付時間：平日 9時～17時）

能美防災株式会社 特販事業部

1. はじめに

本要領書は、機器を交換する際の手順を示したものです。
機器に異常が発生している場合、製品付属の白色紙「取扱説明書」の『5. 定期点検のしかた（テスト）』の内容にしたがい対処したうえで交換が必要かを判断してください。
交換が必要と思われる場合は、下記 **2. 交換の流れ** に示す手順で交換作業をしてください。

登録方法、消去方法、交換作業時および設置後に必要な各種テスト方法についての詳細は、製品付属の白色紙「取扱説明書」および黄色紙「登録・設置説明書」を参照してください。



注意

本書は、設置済みの機器を交換する場合の交換要領書です。製品付属の黄色紙「登録・設置説明書」および白色紙「取扱説明書」の注意事項を必ずお読みください。

2. 交換の流れ

機器の状態と対処方法の確認

警報した親器または子器をテストし、**①対処方法確認チャート** を参照して機器の状態と対処方法を確認します。

テスト方法：

『警報停止／テスト』ボタンを押します。



押し（2秒未満）

機器の交換

交換作業は、次頁 **②交換手順** の該当する **対処No.** の手順に従って行います。

設置および動作確認

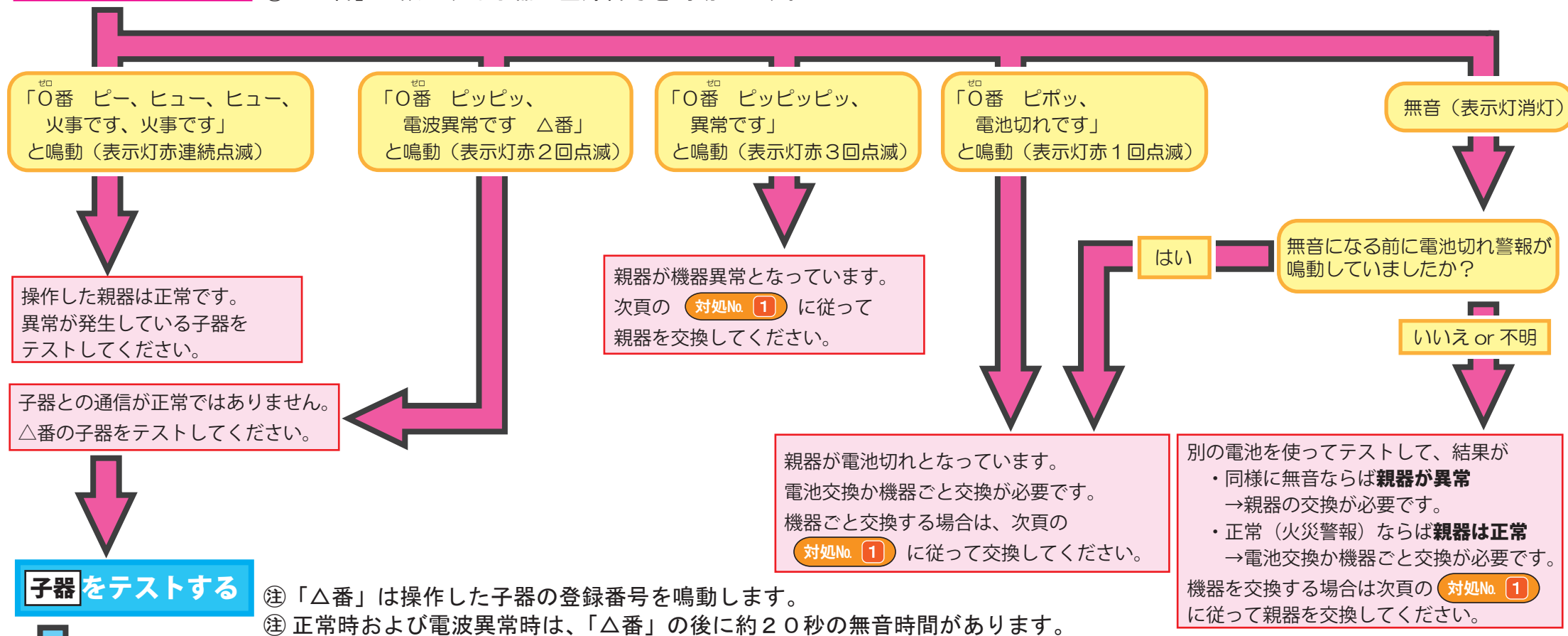
設置後は必ずすべての子器についてテストを行い、正常に動作することを確認してください。

①対処方法確認チャート

交換が必要と思われる場合、以下のチャートに従い機器の状態と対処方法を確認してください。

親器をテストする

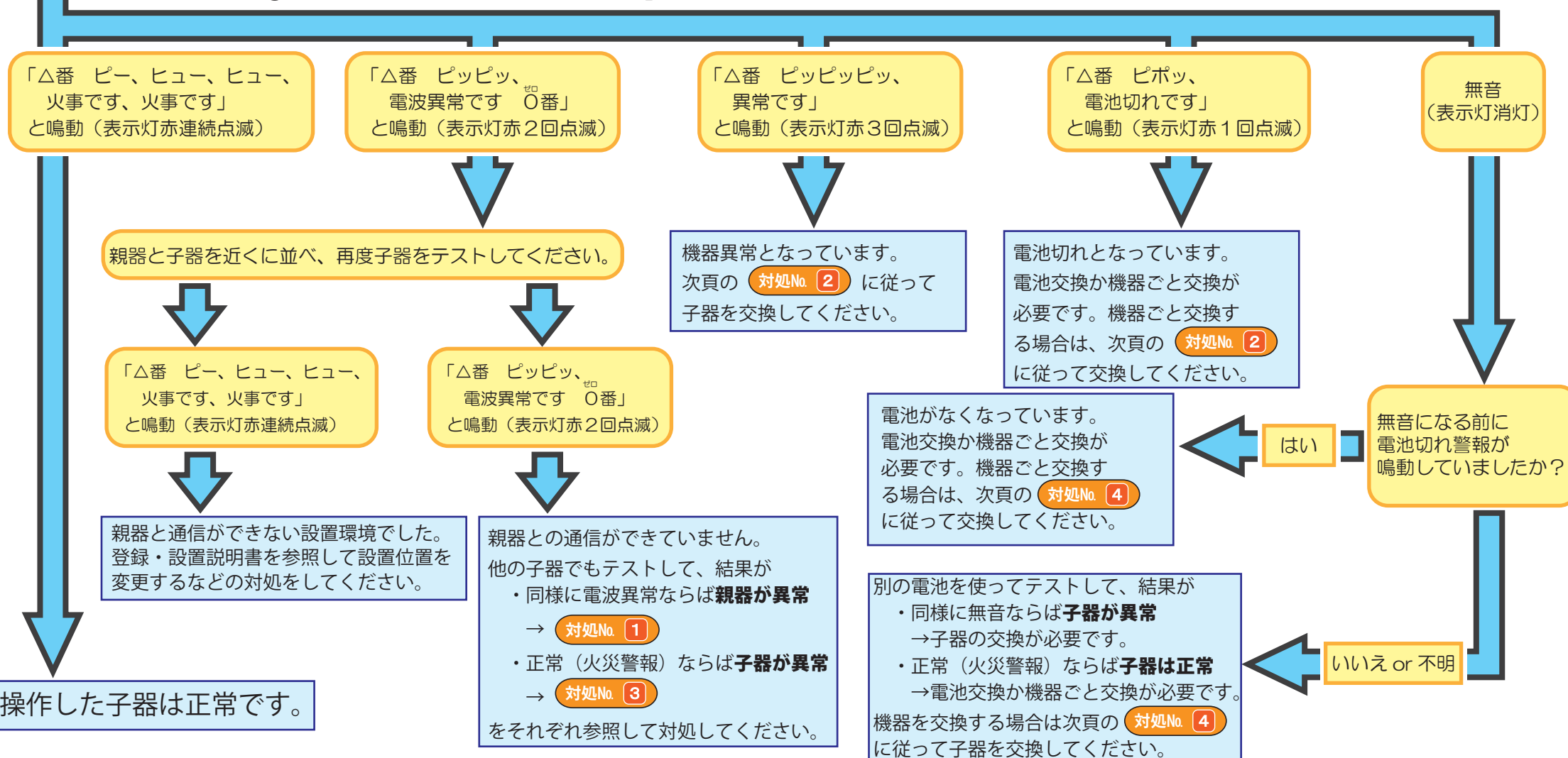
⑥「△番」は該当する子器の登録番号を鳴動します。



子器をテストする

⑥「△番」は操作した子器の登録番号を鳴動します。

⑥ 正常時および電波異常時は、「△番」の後に約20秒の無音時間があります。



本要領書は製品には付属しません。

②交換手順

該当する **対処 No.** の対処方法に従って機器の交換をしてください。(**対処 No.** は前頁の対処方法確認チャートで確認します。)

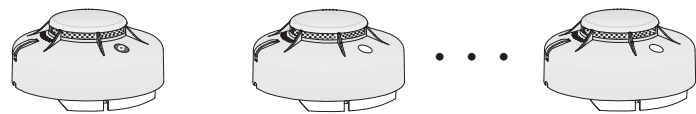
本要領書は製品には付属しません。

③ 交換作業の前に、すべての周波数チャンネル設定が正しいことを確認してください。

対処No. 1 親器の交換

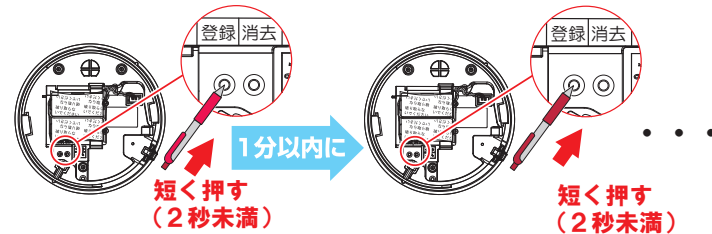
- ① 異常となっている親器を取付ベースから取り外し、電池を外します。
(異常となっている親器と既設子器の消去操作は不要です。)

- ② 設置されている子器をすべて取付ベースから取り外し、電池を入れた新しい親器とともに並べて置きます。



新しい親器 すべての既設子器

- ③ 新しい親器を登録モードにし、すべての子器を登録番号表示シールの番号順に登録します。
(子器の登録番号は、登録番号表示シールと同じ登録番号で登録されます。)



新しい親器 既設子器 (すべての子器を登録)

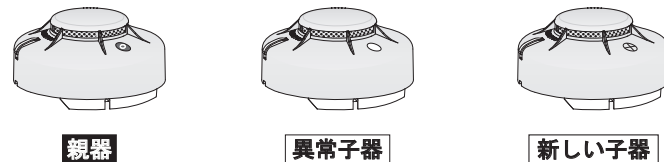
③ 複数の子器を連続して登録する場合は、操作した機器から「△番 登録」と登録メッセージが流れたのを確認してから次の機器を登録してください。

- ④ すべての警報器を元の場所に設置します。設置後はすべての子器について通信テストを行い、正常に動作することを確認してください。

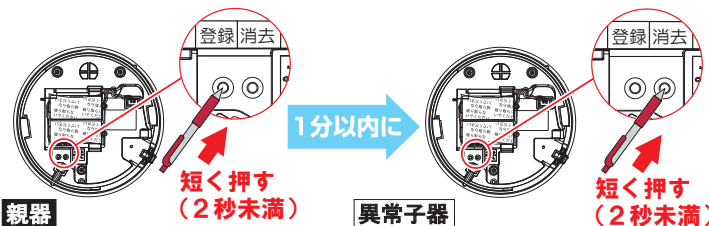
対処No. 2 子器の交換 (・機器異常時 ・電池切れ時 ※)

※子器テストボタン押下時に、電池切れ警報が鳴動する場合

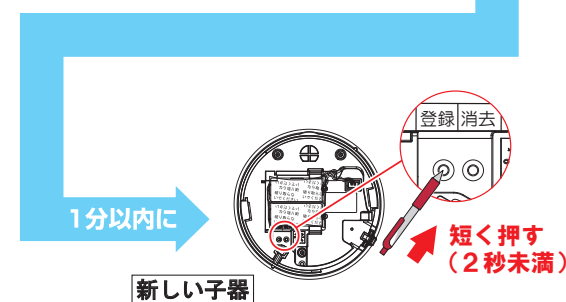
- ① 親器と、異常となっている子器を取付ベースから取り外し、電池を入れた新しい子器とともに並べて置きます。



- ② 親器を登録モードにし、異常となっている子器の登録を消去します。

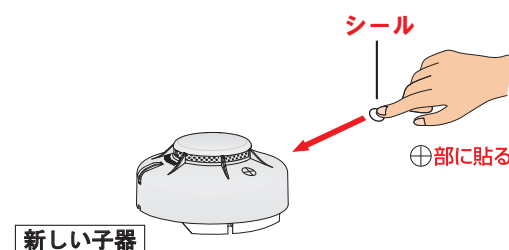


- ③ 続いて、新しい子器を登録します。
(親器が登録モードでない場合は、親器を登録モードにします。)



③ 複数の子器を連続して登録する場合は、操作した機器から「△番 登録」と登録メッセージが流れたのを確認してから次の機器を登録してください。

- ④ 新しい子器に登録された番号と同じ番号の登録番号表示シールを貼ります。

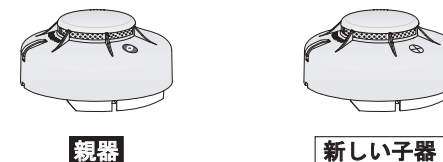


- ⑤ 親器および新しい子器を元の場所に設置します。設置後はすべての子器について通信テストを行い、正常に動作することを確認してください。

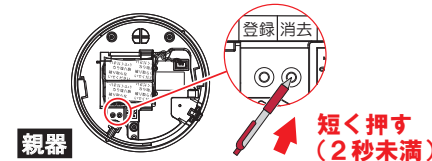
対処No. 3 子器の交換 (電波異常時)

③ 以下の方法でうまくいかない場合は **対処No. 4** の方法で対処してください。

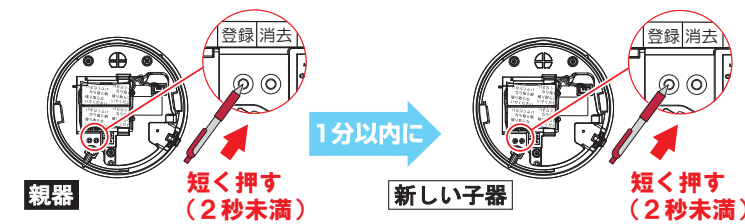
- ① 親器と、を取付ベースから取り外し、電池を入れた新しい子器とともに並べて置きます。



- ② 親器裏面の消去ボタンを短く押し、電波異常中の子器の登録を消去します。
(電波異常中の子器が複数ある場合は、すべて消去されます。)



- ③ 親器を登録モードにし、電池を入れた新しい子器を登録します。



③ 複数の子器を連続して登録する場合は、操作した機器から「△番 登録」と登録メッセージが流れたのを確認してから次の機器を登録してください。

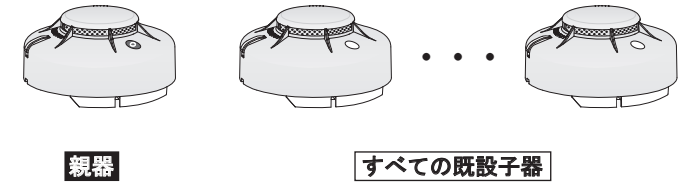
- ④ 新しい子器に登録された番号と同じ番号の登録番号表示シールを貼ります。



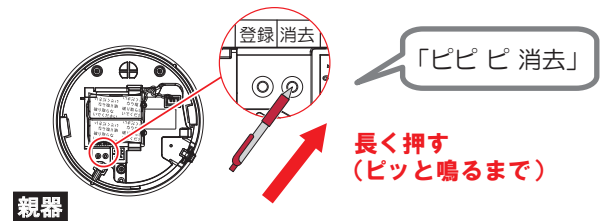
- ⑤ 親器および新しい子器を元の場所に設置します。設置後はすべての子器について通信テストを行い、正常に動作することを確認してください。

対処No. 4 消去作業ができない子器の交換

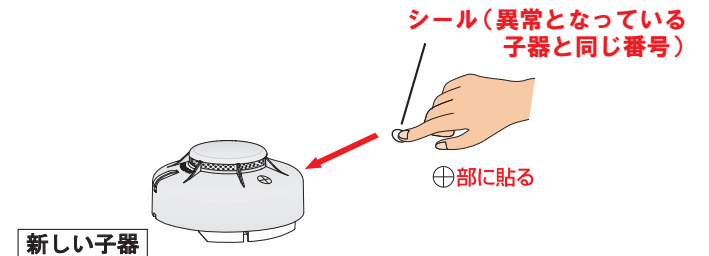
- ① 親器とすべての既設子器を取付ベースから取り外し、並べて置きます。



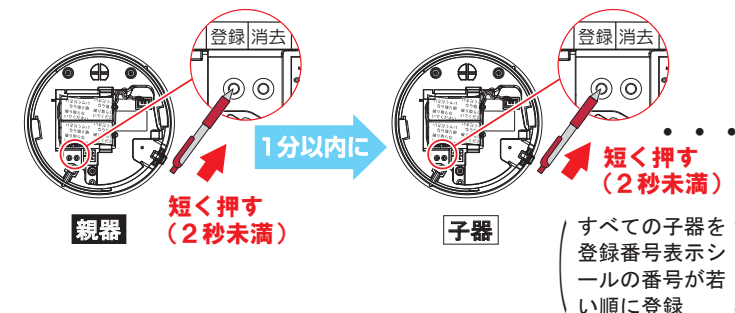
- ② 親器裏面の消去ボタンをピッと鳴るまで長く押し (2秒以上)、すべての子器の登録情報を消去します。



- ③ 電池を入れた新しい子器に、異常となっている子器と同じ登録番号表示シールを貼り、異常子器と入れ替えて並べて置きます。



- ④ 親器を登録モードにし、すべての子器を登録番号表示シールの番号が若い順に登録します。



③ 複数の子器を連続して登録する場合は、操作した機器から「△番 登録」と登録メッセージが流れたのを確認してから次の機器を登録してください。

- ⑤ すべての警報器を元の場所に設置します。設置後はすべての子器について通信テストを行い、正常に動作することを確認してください。